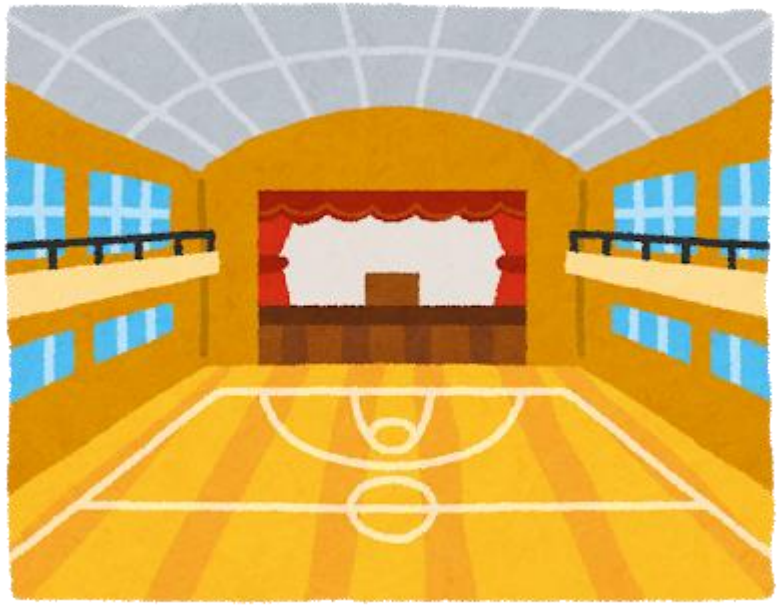
千葉県災害派遣福祉チーム（DWAT）登録時研修

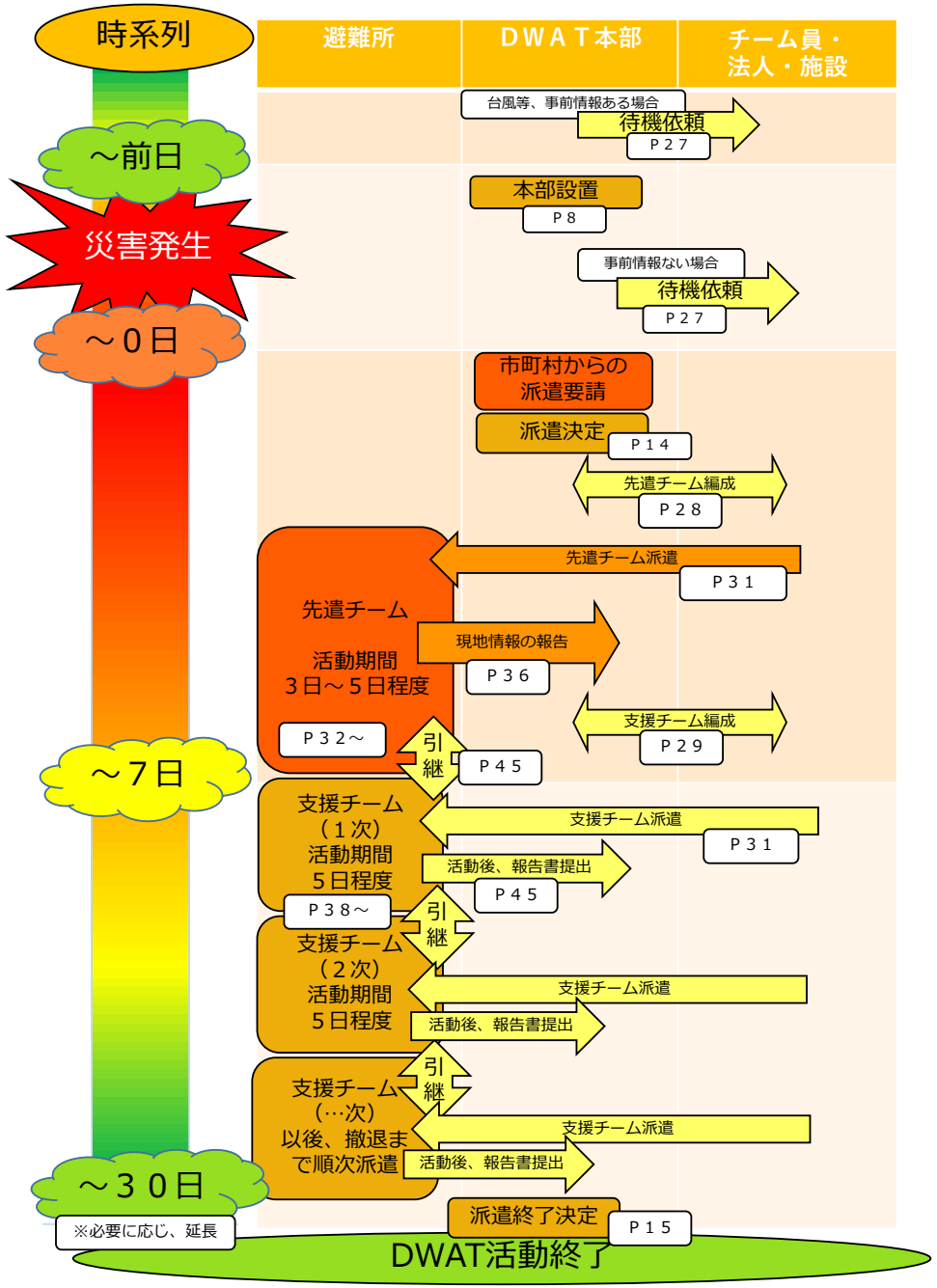
【行政説明】

チーム員の招集から活動終了まで

千葉県健康福祉部健康福祉指導課

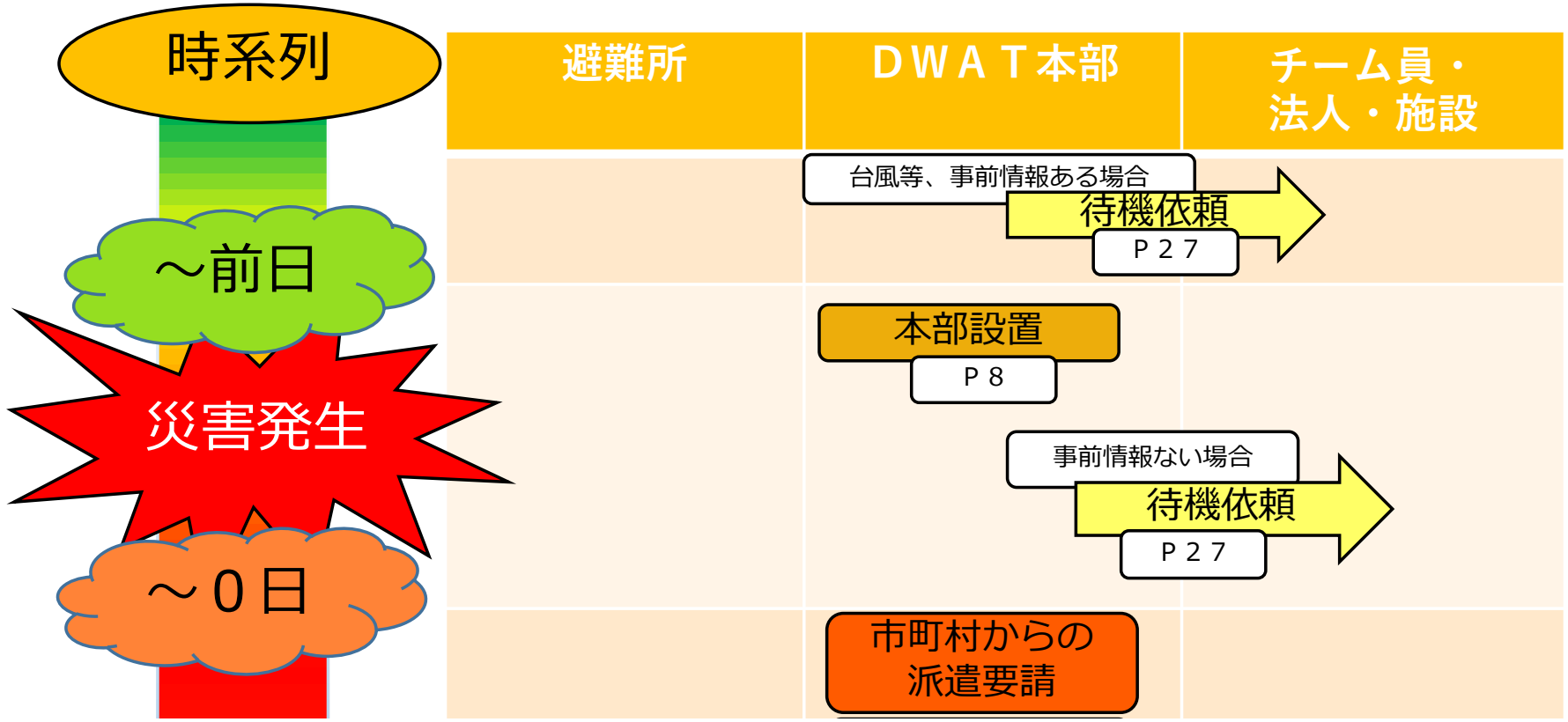
千葉県DWATの活動 P.26





千葉県DWATの活動　P.29

災害発生～待機依頼



チーム派遣の可能性大…

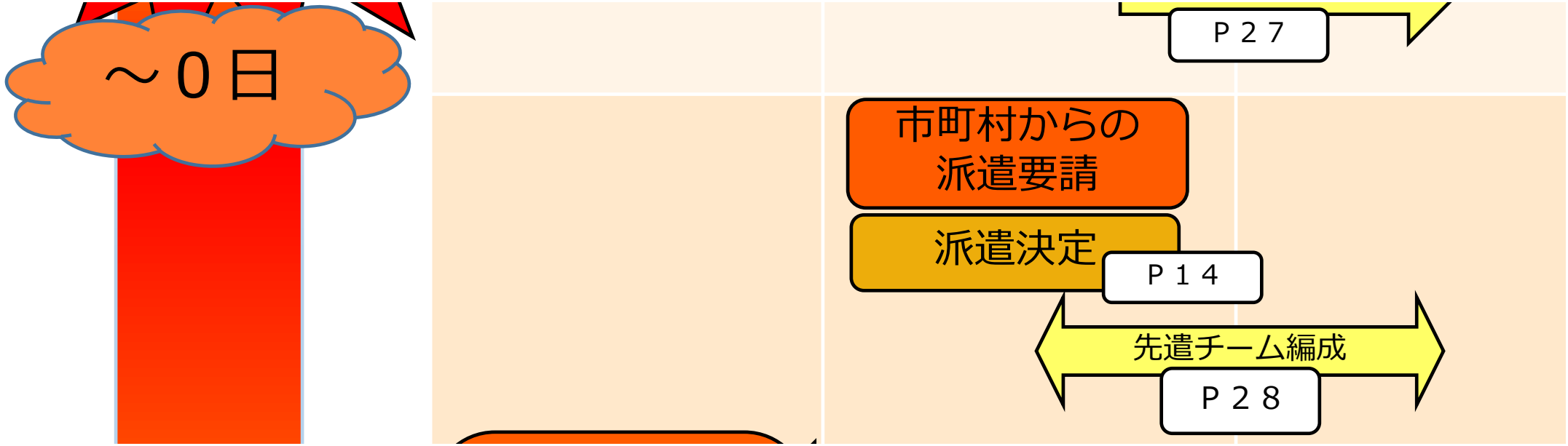
⇒千葉県DWAT本部から協力法人の長、協力団体の長、全チーム員に**『待機依頼』メール**を発出。

待機依頼メール（例）

・令和●年●月●日（●） ●●市を震源とする震度●の地震が発生しました。
・今後、余震等に注意し、まずは身を守る行動をとってください。
・また、各チーム員は安否状況等について、本メールへ返信をお願いいたします。
・今回の地震による県内の被害情報等は、千葉県DWAT 本部等において収集中です。
・今後、被災市町村において、１週間以上にわたり避難所が開設される場合、
千葉県DWAT を派遣する可能性があります。
・各協力法人等の長及びチーム員は、派遣依頼があった場合の対応可否について
準備（ご家族の理解、勤務シフト調整等の検討）をお願いいたします。
・被害状況等は刻々と変化しますので、各自、報道や千葉県ＨＰ等から情報取得に
努めてください。
・チーム員安否確認：以下について、本日●●時までに返信してください。
１．自分に被害はありますか。 □有り □無し
２．家族に被害はありますか。 □有り □無し
３．DWAT 本部への連絡事項など（任意）

千葉県DWATの活動　P.30

市町村からの派遣要請～先遣チーム編成



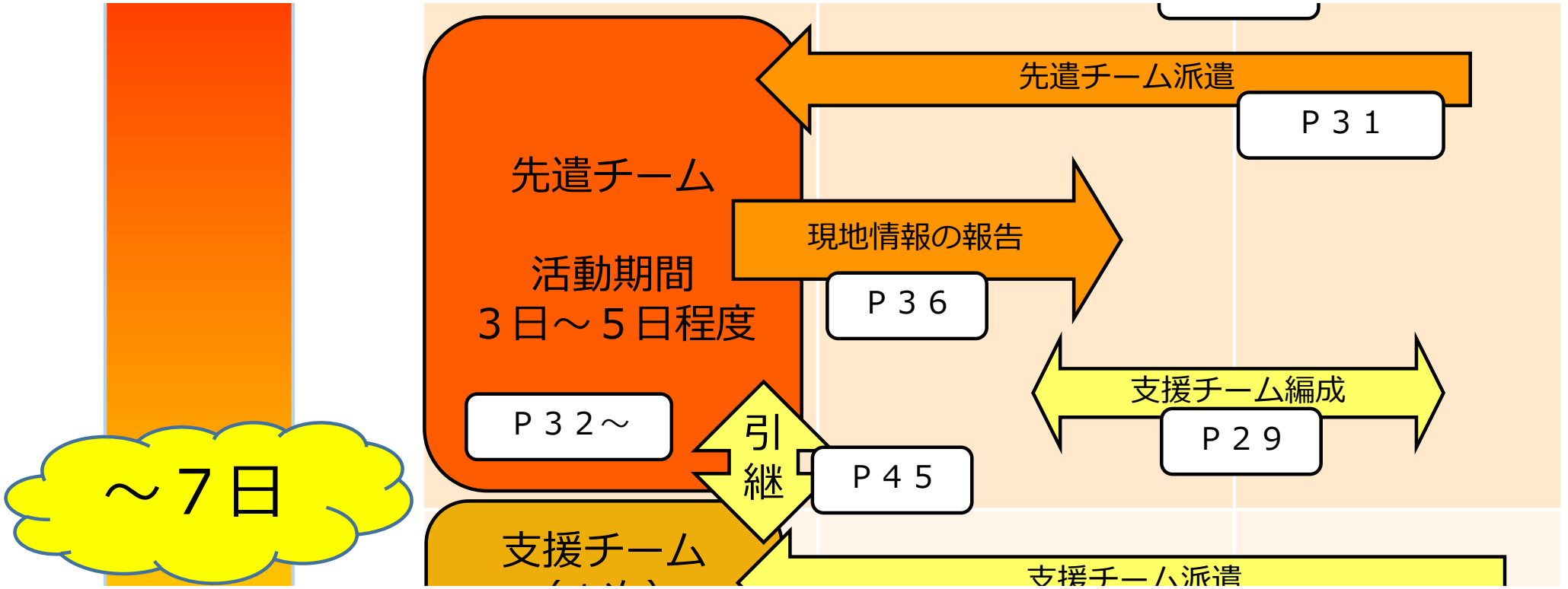
被災市町村等から**派遣依頼**が到達

→千葉県DWAT本部において**チーム派遣が決定**

⇒登録地域、研修の受講状況、経験年数、職種等を考慮して**先遣チームを編成**

千葉県DWATの活動　P.34～38

先遣チームの活動



・後続の支援チームの編成・活動計画に必要な情報を収集する。
・先遣チームの報告を参考に、本部で支援チーム編成の調整を行う。
・先遣チームは支援チームと交代する際、引き継ぎ（後述）を行う。

先遣チームについて　P.10

主な活動内容

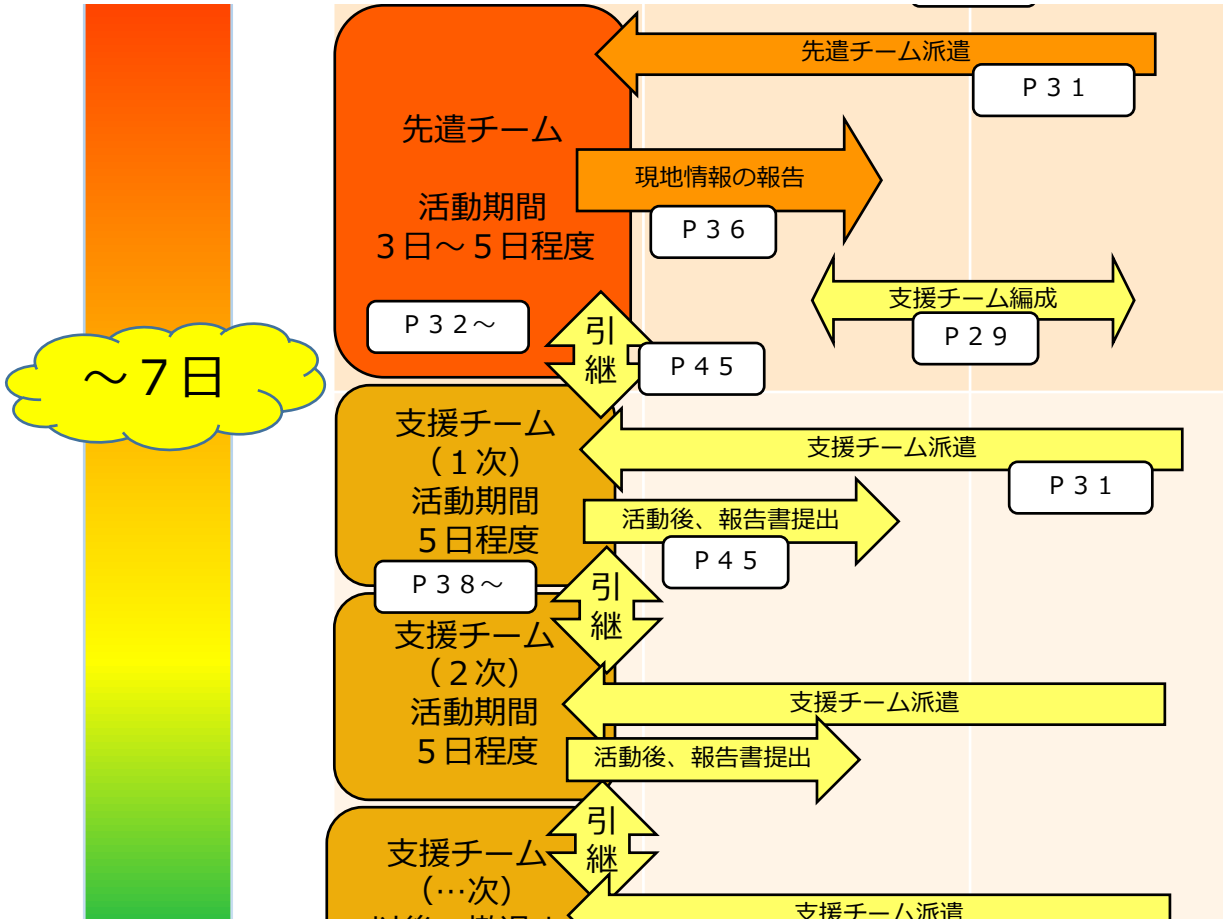
①要配慮者の福祉ニーズ等の把握
②被災地のインフラ等の状況把握
③その後に派遣される支援チームの活動環境の整備
④他団体との連携・調整

チーム編成等

・チーム員3名、DWAT本部職員1～2名　計5名程度
・派遣期間は3～5日、活動時期は発災後概ね7日以内

千葉県DWATの活動　P.31

支援チーム編成



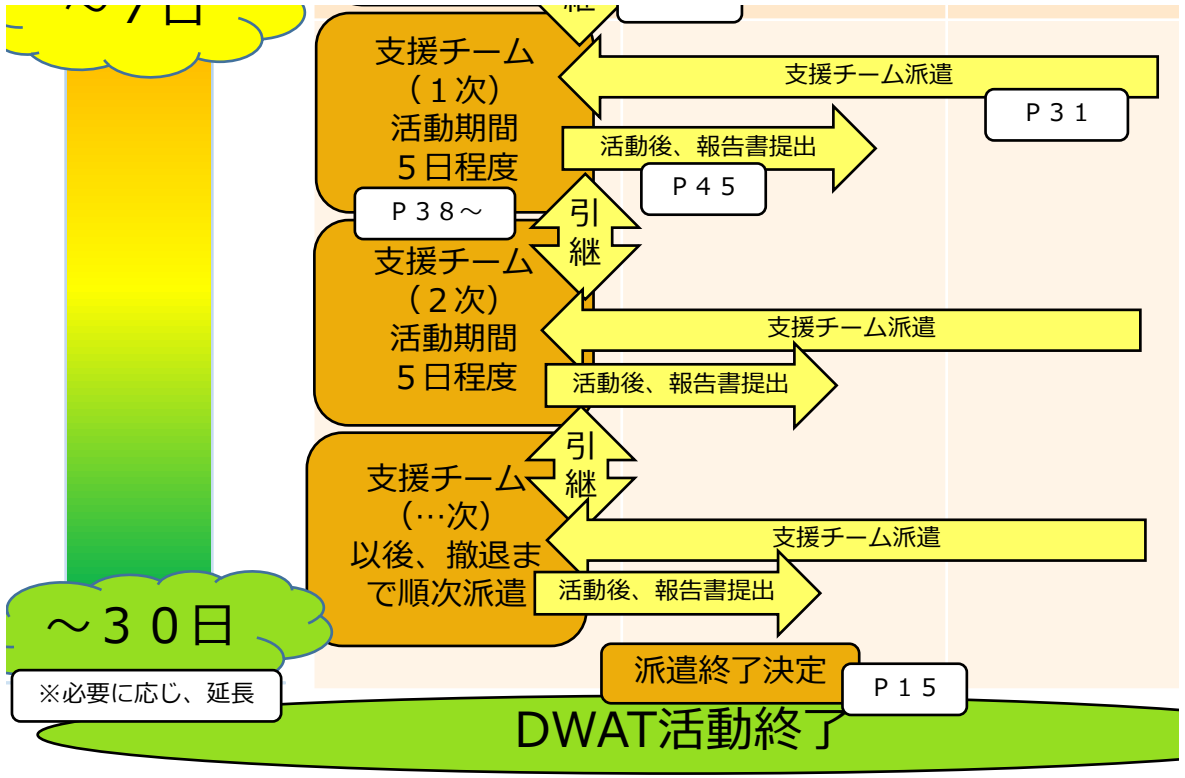
・千葉県DWAT本部から協力法人・団体に対し、派遣打診メールを送信。

・千葉県DWAT本部でチーム編成・派遣計画を作成。

・派遣決定したチーム員、所属する協力法人・団体に対し、メールを送信。

千葉県DWATの活動
P.33～34

支援チームの派遣
（集合～オリエンテーション～被災地到着）



・指示された時間・場所に集合。
・日程・派遣先・現地の状況・チーム編成・宿泊先等の説明を受ける。

↓

・支援活動先へチームで移動

↓

・前のチームから引き継ぎを受ける。
・最初の支援チームには活動資金が渡される。
（出納簿で管理、後発のチームへ引き継ぐ）

オリエンテーションの内容　P.33、54

①個人携行品のチェック
②活動方針の確認
③現地関係者・千葉県DWAT本部・メンバーとの連絡方法の確認
④食料（調達方法等）の確認
⑤移動経路（計画）の確認
⑥車両の運行前点検
⑦チーム携行品の確認・積込
⑧不足している情報の収集

避難所の管理（責任者）について　P.49

避難所の開設・運営

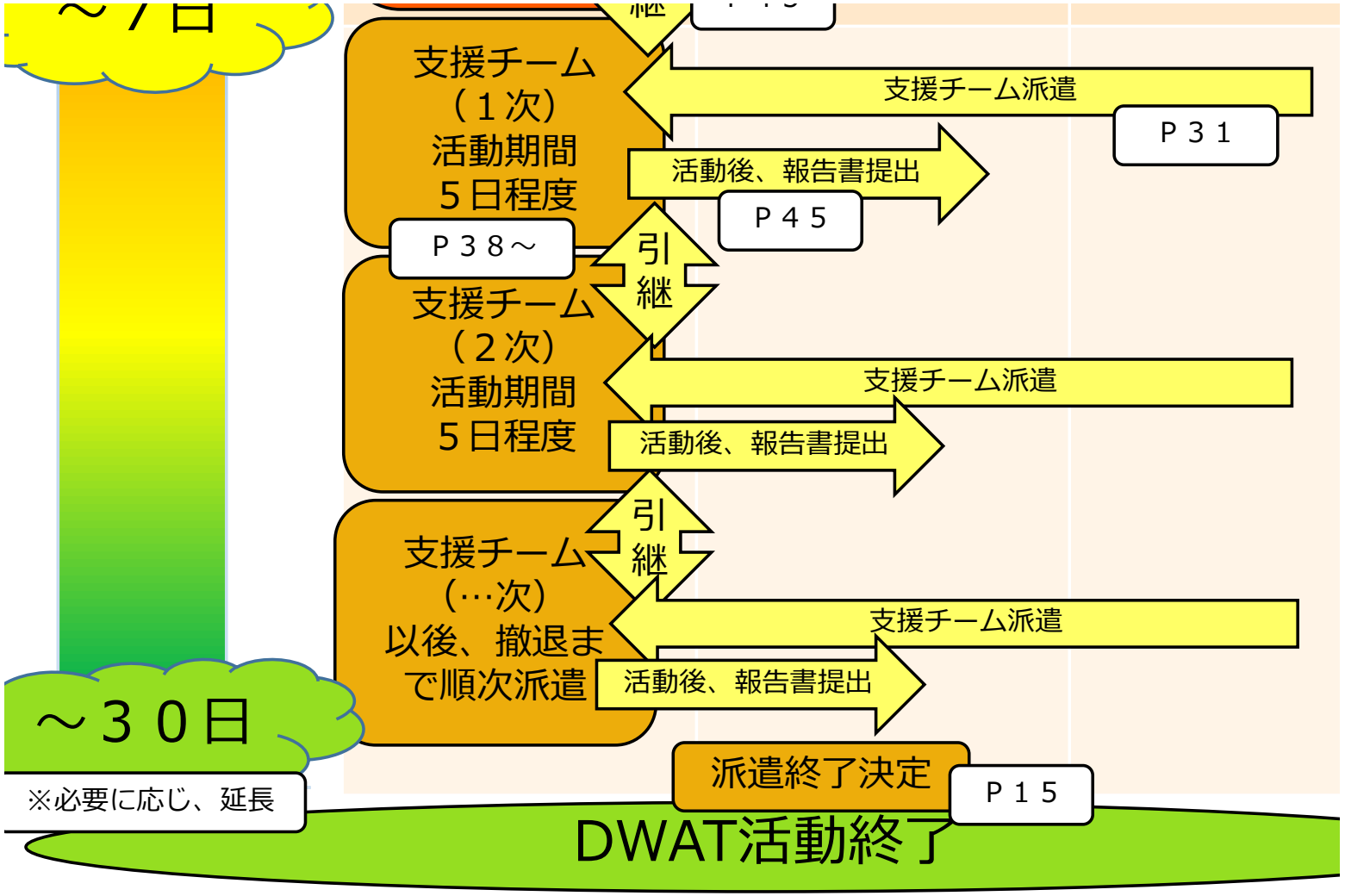
…中心的な役割を担う主体は市町村によって様々

⇒DWAT本部において、管理（責任）者を確認

管理（責任）者となる主体の例
市町村職員、地区会長、避難所運営委員会、自主防災組織、施設管理者　等

千葉県DWATの活動　P.34、41～46

支援チームの活動



・1チームあたりの派遣期間は原則5日間（移動日含まない）

・順次交代でチーム派遣。

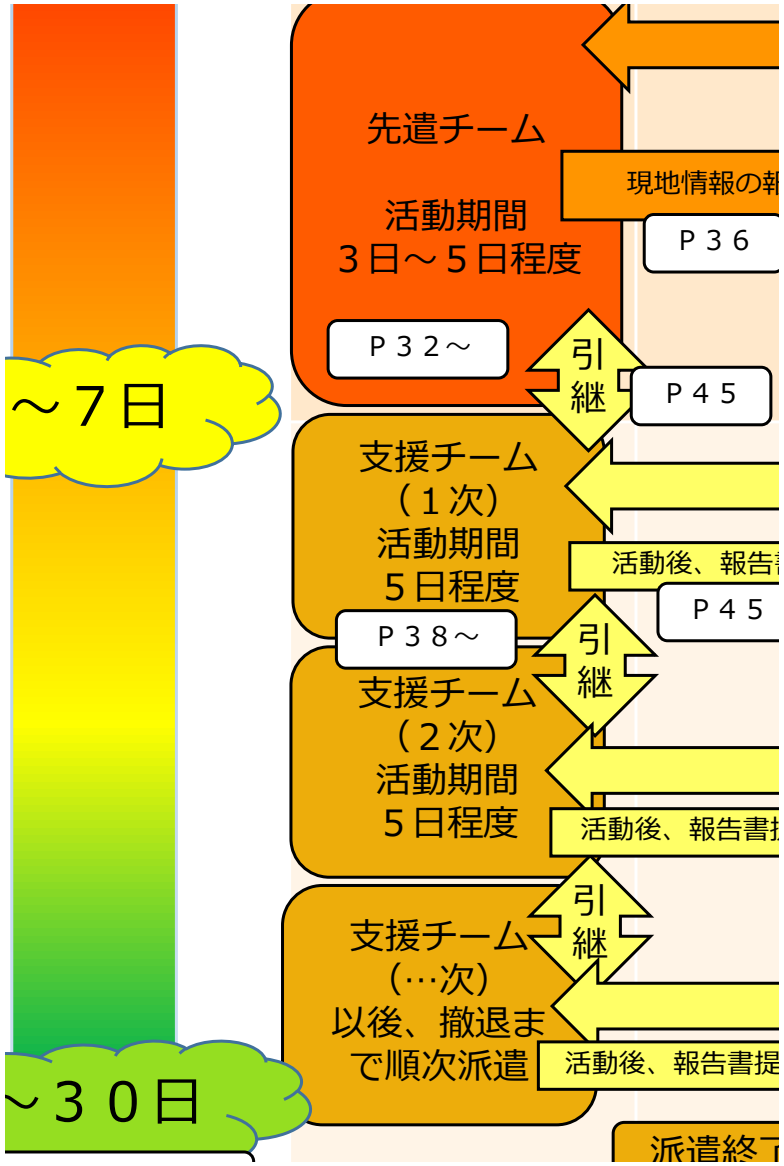
・「支援チーム活動日報」を本部に提出

支援チームについて　P.11

主な活動内容
①要配慮者の心身状態の把握（アセスメント）
②要配慮者のスクリーニング
③要配慮者からの相談対応
④介護等を要する者への応急的な支援
⑤避難所環境の整備

チーム編成等
・リーダー、サブリーダー、相談支援・介護職を含む複数職種による
　原則5名程度で編成
・1チームあたりの派遣期間は原則5日間、順次交代でチーム派遣
・活動時期は災害の初期（発災後概ね7日後から1か月）

千葉県DWATの活動　P.47



引き継ぎ

関係様式H
「千葉県災害福祉支援チーム引継書」
(マニュアルP.58)を用いて引継ぎ。

※引継書は写しを本部に提出する。

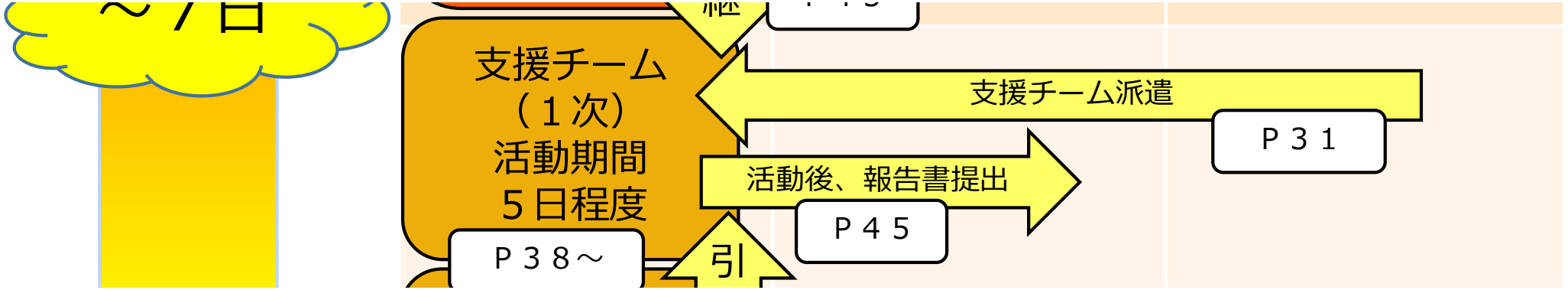
※先遣チームから支援チームへの
　引き継ぎの場合も、基本的には同様

引き継ぎのポイント

・どのような組織体制、班編成で行われているか。
・どのような団体が加わり、役割分担が行われているか。
・組織体制の特徴
・被災地内外でのキーパーソンについて
・他の支援関係者の活動がどのように行われているか。
・前任者から見た、活動上の課題
・後任者に伝えておいた方がよい重要な決定事項及び決定の経緯
・今後の主なスケジュール、状況・ニーズ変化や今後の活動展開の想定
・その他特筆すべき事項等

千葉県DWATの活動　P.47～49

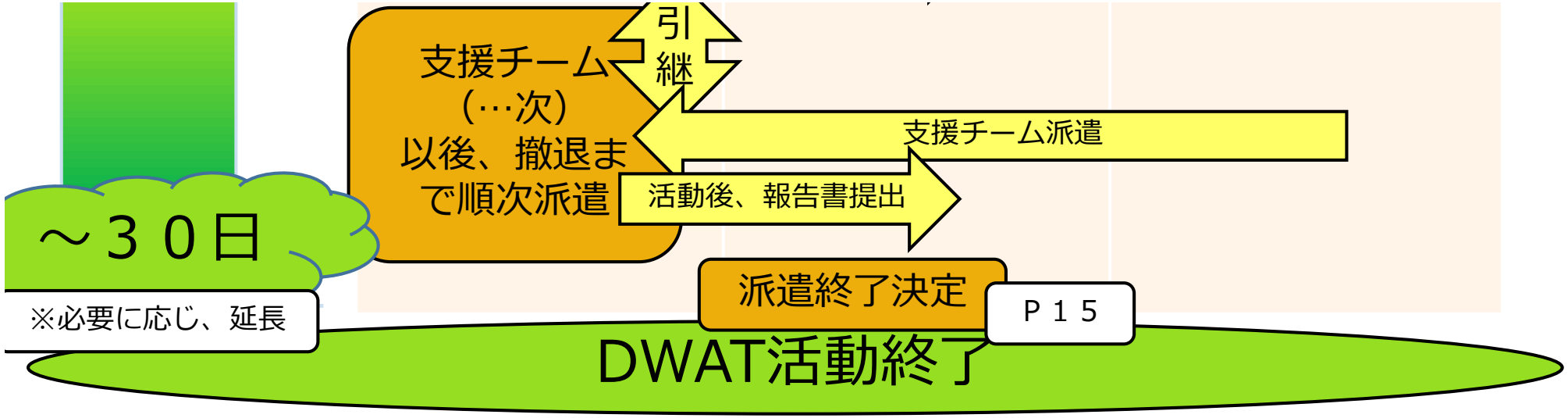
活動終了（帰任）



・リーダーは、本部へ活動報告書を提出。
・サブリーダーは、活動経費報告書を提出。
・チーム員は活動後2週間、健康状態を確認。
→発熱等の体調不良があった場合には千葉県DWAT本部または協議会事務局へ報告。

千葉県DWATの活動　P.15、47

支援活動終了



・千葉県DWAT本部は、協議会事務局と協議の上、派遣終了時期を決定する。
・チームは、チームによる支援の必要性が少なくなったと判断される場合は、
　千葉県DWAT本部と協議の上、現地関係者への引継ぎ・撤収の準備を進める。
　また、現地への引継ぎ等を行い、支援の継続性に配慮する。
・千葉県災害福祉支援ネットワーク協議会は、すべての支援活動が終了した際には、
　千葉県DWAT本部を解散する。

（参考）安否確認/一斉通報サービス

- 派遣待機、派遣打診の際、安否確認/一斉通報サービスを用い、ご登録いただいたメールアドレスへメールを発出させていただきます。

千葉県DWAT（安否確認/一斉通報サービス）からのお知らせです。

通知が届いています。
下記のURLからメッセージを確認し回答の登録を行ってください。
http://www.mc-anpi.com/・・・・
※URLには有効期限があります。有効期限を過ぎた場合アクセスできなくなります。

安否確認、派遣可能日、派遣元法人の承認有無、運転可否等の質問項目に回答

このメールは、千葉県DWAT（安否確認/一斉通報サービス）からの通知先としてご登録されているメールアドレスに送信しております。
本メールは、送信専用アドレスから配信されています。ご返信いただけませんのでご注意ください。
――　千葉県DWAT（安否確認/一斉通報サービス）　――

支援活動における4つの基本的な心構え　P.49

(1) 自己完結的活動を基本とする ♦思いやり

(2) 被災地の意向に寄り添う ♦共感

(3) 被災者・被災地の福祉の自立を促進 ♦地元主体

(4) あらゆる職種との連携を図る ♦心を一つに

御清聴ありがとうございました。